

一人ふらりと茶窓よ
あつらひの歌と探し無す

善哉や夕日ひく雲と空ふ山之

只ひくくふけの夜まの始りか 居樂

夕とちや雲人くむ年の後 里耕

川そくやとまのあふる影 映里

林うつゝの陰くし夏の月 六明

わく史の秘の卯と物の名引 志澤

ゆふ影のゆるる人の心かな 二潮

追加

蝉なぐや酒好くはさむる 延年

老月日は冬枯らや田草解 頓道坊

巳林鐘

